

1 単元名 みんなでトライ！（タグラグビー）

2 運動の特性

(1) 一般的特性

タグラグビーは、相手をかわしたりパスをつないだりして得点ゾーンへ走り込んで得点をとったり、タグをとって攻撃を防いだりして勝敗を競い合うことが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性 ～省略～

3 仮説と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で、子どもたちが学習意欲やめあてをもって取り組めるようねらいや道すじや学習活動を工夫する。

○ 道すじについて

本学級の子どもは、これまでの学習ではチームでルールを選んだり、考えたりしてきた経験が少ない。今回のタグラグビーではボール運動に苦手意識がある子や、初めてタグラグビーを行う子も含めて、「全員が楽しめるルールを考える」というボール運動の楽しみ方を味わわせていきたい。合わせて、勝つための簡単な作戦を考えさせながら、ゲームを楽しませていきたい。

ねらい① やさしいルールでタグラグビーを楽しもう。

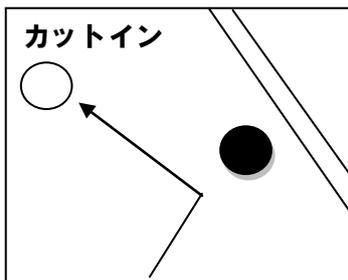
- ・タグラグビーの行い方や、基本的なルールを知る。
- ・よい攻め方、守り方の動きを知る。



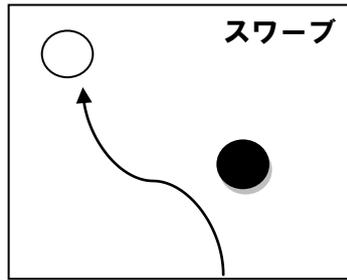
ねらい② ルールを選び、せめ方、守り方を考えてタグラグビーを楽しもう。

- ・チームでルールを選ぶ。
- ・かんたんな攻め方や守り方を考えてゲームを楽しむ。

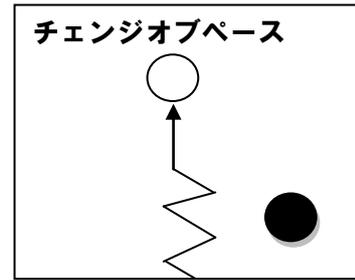
攻め方の工夫



走る方向を急に変える

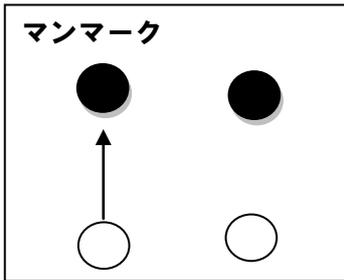


弧を描くようにかわす

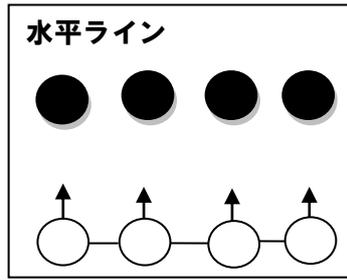


走るスピードを急に変える

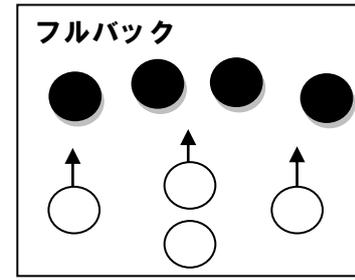
守り方の工夫



特定の相手につく



横一列で守る



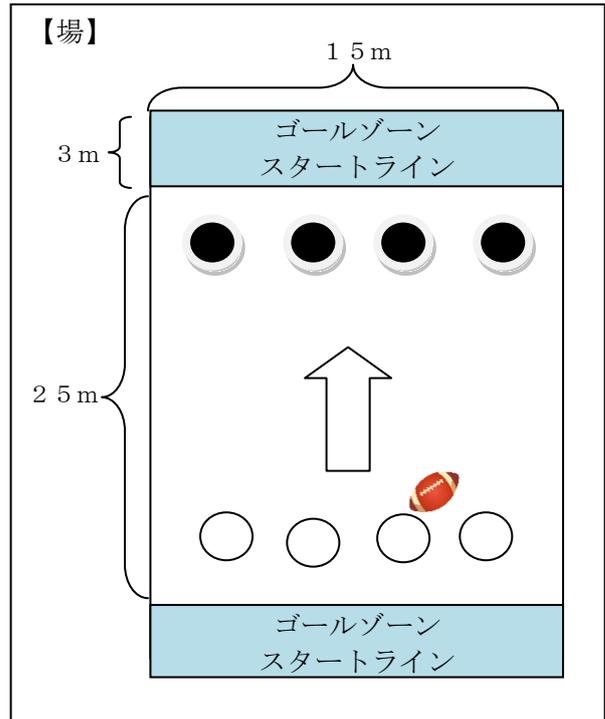
後方に一人残って守る

【はじめのルール】

- ・攻撃4人、守備4人
- ・3分間で攻守交代
- ・攻撃側がボールを持ち、タグを取られずにゴールゾーンに入ったら1点
- ・守備側はタグを取ったら「タグ！」と大きな声で言い頭上に上げる
- ・タグを取ったら相手に返すまで、タグを取られたらタグを腰につけるまでゲームに参加できない
- ・攻撃側はタグを取られたらすぐに横・後ろの味方にパスを出す
- ・以下のようなとき攻撃側はスタートラインに戻る
 - トライしたとき
 - ボールを前に投げたとき
 - ボールを落としたとき
 - タッチラインから体やボールが出たとき
- ・最初にボールを持つ人はローテーションする
- ・守備側の接触は反則となり、その場から再開する

【ねらい②で選べるルール・場 例】

- ・はじめの得点は3点
- ・2点ゾーンの設置
- ・タグ4回でスタートラインに戻る



○ 身に付けさせたい技能を明確にするための言葉かけ

本学級の子どもたちは、今回の学習でタグラグビーを初めて行う子がほとんどである。そこで、タグラグビーに必要な動きを明確にするために、次の2つを合言葉とする。

- ・合言葉① 「ラン！」（ボールを持ったらタグを取られるまで前へ走ろう）

タグラグビーは相手陣地の深くまでボールを運び込むことが重要だが、始めは相手が近づいてくると逃げようとして後ろへ下がる動きが多くなると予想される。ゲームの中ではボールを前へ運ぶ動きが何よりも大切であり、その動きを意識しやすくなると考える。

・合言葉② 「フォロー！」(ボールを持っている人の後ろへ回ろう)

パスを出すときに前方に味方がいると前に投げるとい反則につながってしまう。常に味方が後ろにいる状況を作ること、反則が少なくなるとともにパスをスムーズにつないで攻める動きが生まれてくる。

よい動き方をクラス全体で共有できるように、毎時間の振り返りで取り上げた動き方を掲示物として残して、いつでも見ることができるようにしていきたい。

視点2 一人一人のよさを伸ばし、学習を意欲的に取り組むための手立てを工夫する。

○ 「五郎丸タイム」の設定

タグラグビーではタグや楕円形のボールの扱い、後ろへパスをするというルールが初めてゲームに取り組む子どもたちにとっては難しく感じることもあるだろう。そこで以下の運動を、タグラグビーに慣れるための時間として行いたい。

【タグ取りゲーム】 タグの取り方、「タグ！」という声出しに慣れる

- ・ 1対1でタグ取り・・・右手で握手し、手を離さずに相手のタグを取る。取ったら「タグ！」とコールする。
- ・ チームでタグ取り・・・コート内で、4チーム対抗でタグを取り合う。2本タグを取られてもそのまま続ける。たくさん取ったチームの勝ち。

【金魚さんランニング】 味方の後ろを追いかけ、後ろの味方へパスをする技能

- ・ 走りながら先頭のボールを持った「金魚さん」が、左右どちらかの「金魚さんのフン」にパスをする。
- ・ パスをもらった人は前を出て、「金魚さん」になる。
- ・ パスを出した人は後ろへ回って「金魚さんのフン」になる。



4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- ルールやマナーを守り、ゲームを楽しむことができるようにする。【**関心・意欲・態度**】
- チームに合ったルールを選んだり、簡単な作戦を考えたりすることができるようにする。【**思考・判断**】
- タグを取られないように走ったり、パスをつないだりして攻めることができるようにする。【**技能**】

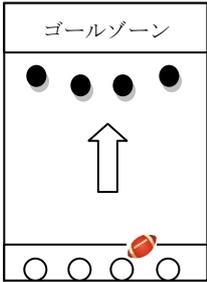
(2) 学習の道すじ

		1	2	3	4	5	6 (本時)	7
0 ↓ 4 5		オリ エン テー ション	五郎丸タイム (つながる運動)					
			ねらい① やさしいルールでタグラグビーを楽しもう。 (総当たり戦)			ねらい② ルールを選び、せめ方、守り方を考えてタグラグビーを楽しもう。(対抗戦)		
観点 重点評価	関	① ③	②		④			②
	思		①	①		②	②	
	技			①	③	①	③	②

5 評価規準 (概ね満足できる状況)

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ・運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。 ・チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームに合った作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易化されたゲームで、攻守が入り混じった攻防をするためのボール操作やボールを受けるための動きができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①タグラグビーに進んで取り組もうとしている。 ②ルールやマナーを守り、ゲームをしようとしている。 ③用具の準備・片付けを進んで行おうとしている。 ④運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ゲームの行い方を知るとともに、自分に合っためあてを立てている。 ②攻め方の工夫を知るとともに、チームの特徴に合った簡単な作戦を立てたり、ルールを選んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①タグを取られないように走ることができる。 ②近くにいる味方にパスをすることができる。 ③ボールを持っている人の後ろへ回り、攻撃に参加することができる。

6 学習内容と活動

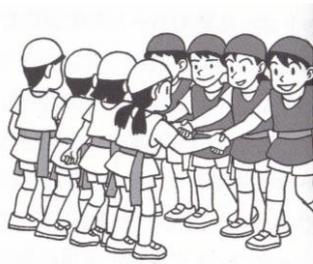
<p>はじめ</p>	<p>1 オリエンテーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや道すじを知り、学習の進め方の見通しをもつ。 ○ルールやマナー、セルフジャッジの注意点を確認する。 ○学習カードの使い方について理解する。 ○用具の準備や使い方、片付け方、安全について知る。 ○チーム編成について知る。(男女混合1チーム4、5人×8) ○タグラグビーの基本的な動き方について知る。 <p>2 試しのゲームをして、次時のめあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇タグラグビーに進んで取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度①】 ◇用具の準備・片付けを進んで行おうとしている。 【関心・意欲・態度③】 	
<p>なか①</p>	<p>学習内容と活動</p> <p>1 学習の場作りをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○五郎丸タイム <ul style="list-style-type: none"> ・タグ取りゲーム ・金魚さんランニング など <p>2 本時のねらいとめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ねらい① やさしいルールでタグラグビーを楽しもう。</p> </div> <p>【予想されるめあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持ったらとにかく前へ走る。 ・両手で友達がとりやすいパスを出す。 ・ボールを持っている人の後ろへ回り、タグを取られたらすぐにパスをもらう。 <p>3 対戦相手、ルールを確認し、ゲームの準備をする。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>教師の支援 (○)・評価 (◇)</p> <p>○協力して場作りができるよう声かけをする。</p> <p>○「相手の動きに合わせてタグを取る」「両手で下からボールを投げる」「左右に動いて相手をかかわす」などのポイントを確認してから運動に入れるようにする。</p> <p>○ポイントを意識しながらできていたチームや子どもを称賛する。</p> <p>○自分に合っためあてをもっているか確認し、状況に応じて助言していく。</p> <p>◇ゲームの行い方を知るとともに、自分に合っためあてを立てている。 【思考・判断①】</p> <p>○ルールやマナーを守ることが楽しさにつながることを伝える。</p> <p>○ルールやマナー、ゲームの場所と対戦相手などは掲示しておく。</p> <p>○変更したルールについて全体の場で確認する。</p> <p>◇運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 【関心・意欲・態度④】</p>

【はじめのルール】

- ・攻撃4人、守備4人
- ・3分で攻守交代
- ・攻撃側がボールを持ち、タグを取られずにゴールゾーンに入ったら得点
- ・守備側はタグを取ったら「タグ！」と大きな声で言い頭上に上げる
- ・タグを取ったら相手に返すまで、タグを取られたらタグを腰につけるまでゲームに参加できない
- ・攻撃側はタグを取られたらすぐに横・後ろの味方にパスを出す
- ・以下のようなとき攻撃側はスタートラインに戻る
 - トライしたとき
 - ボールを前に投げたとき
 - ボールを落としたとき
 - タッチラインから体やボールが出たとき
- ・最初にボールを持つ人はローテーションする
- ・守備側の接触は反則となり、その場から再開する

4 第1ゲームを行う。

- 挨拶をしてゲームを始める。
攻め3分 守り3分
ハーフタイム（1分）
攻め3分 守り3分
- ゲームが終了したら挨拶をする。



- チームでミーティングをする。

【予想される振り返り】

- ・後ろに走ってしまうとゴールから離れるからよくないね。
- ・どんどん前に進むとたくさん得点を取ることができたね。
- ・近くでパスをもらおうといいね。
- ・横に並ぶと守りやすいよ。

5 第2ゲームを行う。

※第1ゲームと同様に行う。

- 攻め3分 守り3分
- ハーフタイム（1分）
- 攻め3分 守り3分

○各コートを回り、相手を上手くかわして走っている子どもや、パスをもらいやすい位置に動いている子どもを称賛する。

○互いに挨拶をし、ルールやマナーを守ってゲームが進められるよう声をかける。

○ゲームに出ていない子には得点をとった時の動きを確認するよう声をかける。

◇ルールやマナーを守り、ゲームをしようとしている。
【関心・意欲・態度②】

◇タグを取られないように走ることができる。
【技能①】

◇ボールを持っている人の後ろへ回り、攻撃に参加することができる。
【技能③】

○チーム内でよかった動きや改善点を共有できるように、巡視しながら声かけをしていく。

○うまく攻めることのできていなかったチームに積極的に助言する。

○やってみたい動きや、つまづいたポイントを動きながら確認してもよいことを伝える。

○つながる運動や、合言葉の動きが出たチームや子どもを称賛する。

○前のゲームの課題を解決しようとしている児童やチームを称賛する。

	<p>6 チームで振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあては達成できたか。 ・ルールはどうだったか。 ・マナーはどうだったか。 ・せめ方・守り方はどうだったか。 <p>7 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習カードに振り返りを記入する。 ○学習の成果や課題を発表する。 <p>8 整理体操をして、後片付けを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○チームメイトや相手チームのよいところを見つけられた子どもを称賛する。 ○「ゲームは楽しくできたか」「めあては達成できたか」という観点で振り返るよう促す。 ○全員が楽しめるよりよいルールについて話し合う。 ○ゲームの中で出たよい動き方や、マナーを守り相手を大切にした行動を紹介し、次時へつなげるようにする。 ○けががないか確認しながら整理体操をし、安全に片付けをするよう声をかける。
<p>なか②</p>	<p>1 学習の場作りをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○五郎丸タイム ・タグ取りゲーム ・金魚さんランニング ・チーム練習など <p>2 本時のねらいとめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ねらい② ルールを選び、せめ方、守り方を考えてタグラグビーを楽しもう。</p> </div> <p>【予想されるめあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走るスピードを変えて相手を抜く。 ・タグを取られたらすぐにパスを出せるように横一列で走る。 ・相手がいない遠くのサイドでパスをもらえるように動く。 ・みんなでジグザグに走って相手をかかわしてゴールを目指す。 ・横に一列に並んで守る。 ・マンツーマンでマークにつく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○協力して場作りができるよう声かけをする。 ○止まらずに、走りながらパスを出したり受けたりできるように声をかける。 ○両手で下からパスを出すよう声をかける。 ○チームの実態に合わせて練習内容について対応していく。 ○攻め方、守り方に分けて考えるよう助言する。 ○チームで考えた攻め方や守り方を共通理解するよう声をかける。 ◇攻め方の工夫を知るとともに、チームの特徴に合った簡単な作戦を立てている。【思考・判断②】

3 対戦相手、ルールを確認し、ゲームの準備をする。

選ぶルールの例

- ・はじめの得点は3点
- ・2点ゾーンの設置
- ・タグ4回でスタートラインに戻る

4 第1ゲームをする。

○挨拶をしてゲームを始める。

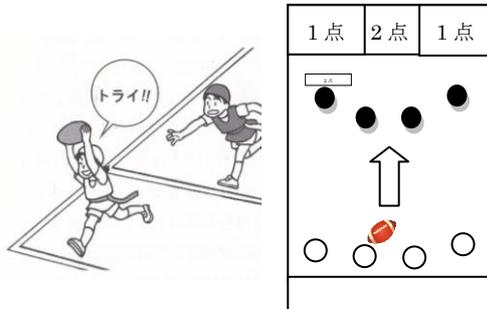
攻め3分 守り3分

ハーフタイム (1分)

攻め3分 守り3分

○ゲームが終了したら挨拶をする。

(2点ゾーン有りの場)



○チームでミーティングをする。

【予想される振り返り】

- ・考えたせめ方がうまくいったから次の試合でも試してみよう。
- ・〇〇さんは走るのが速いから△△さんと役割を変えてみよう。
- ・パスを落としてしまうと流れが止まってしまうから丁寧に近くでつなごう。
- ・〇〇君をマークした作戦が上手くいったよ。
- ・守る位置を変えてみよう。

5 第2ゲームを行う。

※第1ゲームと同様に行う。

攻め3分 守り3分

ハーフタイム (1分)

攻め3分 守り3分

○ルールやマナーを守ることが楽しさにつながることを伝える。

○ルールやマナー、ゲームの場所と対戦相手などは掲示しておく。

○変更したルールについて全体の場で確認する。

○各コートを回り、仲間と協力して攻めようとしているチームや子どもを称賛する。

○ルールやマナーを守ってゲームができていないか確認する。

○ゲームに出ていない子には得点をとった時の動きを確認するよう声をかける。

◇ルールやマナーを守り、ゲームをしようとしている。

【関心・意欲・態度②】

◇タグを取られないように走ることができる。

【技能①】

◇近くにいる味方にパスをすることができる。

【技能②】

◇ボールを持っている人の後ろへ回り、攻撃に参加することができる。

【技能③】

○事前に考えていた攻め方や守り方がどうだったか話し合うよう声かけをする。

○うまく攻めることのできていなかったチームに積極的に助言する。

○やってみよう動きや、つまづいたポイントを動きながら確認してもよいことを伝える。

○つながる運動や、合言葉の動きが出たチームや子どもを称賛する。

○よい動き方を積極的に広め、次のゲームで意識できるようにする。

○前のゲームの課題を解決しようとしている子どもやチームを称賛する。

	<p>6 チームで振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてはどうだったか。 ・ルールはどうだったか。 ・せめ方・守り方はどうだったか。 <p>7 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習カードに振り返りを記入する。 ○学習の成果や課題を発表する。 <p>8 整理体操をして、後片付けを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○チームメイトや相手チームのよいところを見つけてられた子どもを称賛する。 ○「工夫したルールやせめ方・守り方はどうだったか」「めあては達成できたか」という観点で振り返るよう促す。 ○ゲームの中で出たよい動き方や、マナーを守り相手を大切にした行動を紹介し、次時へつなげるようにする。 ○けががないか確認しながら整理体操をし、安全に片付けをするよう声をかける。
<p>ま と め</p>	<p>1 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タグラグビーの学習を楽しむことができたか。 ○ ルールやマナーを守り、協力して練習やゲームができたか。 ○ 自分に合っためあてをもち、学習できたか。 ○ チームでルールを選んだり、せめ方・守り方を考えたりすることができたか。 ○ 相手をかかわしながら走り、得点をとることができたか。 	